

2016年12月期第2四半期 決算説明会 ご質問と回答

○決算説明会実施日時：2016年8月10日（水）10：00～11：00

【質問者 A】

Q1: 新規事業の M&A について、どのようなものを考えているか教えてほしい。

A1: 当社の長所を活かせるとする、ケータイ事業関連やサービス産業の分野になると考えている。色々な M&A コンサルタント会社から情報を集めている段階である。

Q2: 新規事業の検討が本格的になったのは、今年3月の借入を実施した時期あたりという理解で良いのか。

A2: 次の柱を作っていくため、そのあたりから検討を進めている。

【質問者 B】

Q1-1: 光回線がどのくらい伸びているか教えてほしい。また、ワイモバイルについては資料に記載がないが、どのくらい伸びているのか。

A1-1: 当社における上期の光回線獲得件数は、前期比で約4倍となっている。(15年3月から取り扱い開始) また、当社のワイモバイルショップは10店舗程度で、業績に対する影響が少ないため記載していないが、MNPを中心に新規販売が伸びており、当社における上期の販売台数は前期比で約1.4倍となっている。

Q1-2: ワイモバイルの店舗数は増えていく予定はあるのか。

A1-2: 通信キャリアからの情報は持ち合わせていないが、元々ワイモバイルの店舗は相当数(800店舗前後)あるので、それほど増えないのではないかと推測する。

Q2: 修理サービスの減益要因について教えてほしい。

A2: 前年はリコールによる特殊事情で修理件数が多かったが、今年は件数減少で減益となっている。

Q3: 前年上期と比較した店舗数の増減について教えてほしい。

A3: 出店と閉店を繰り返しながら、直営店舗数は前年上期よりも4店舗増加している。これまでは閉店が少なかったが、最近では閉店もあり、店舗の入れ替えが激しくなっている。

Q4: IoT 時代を迎える販売代理店のミッションとして、最先端技術による感動体験を提供していくと資料に記載されているが、新規事業に関係してくるのか。

A4: 既存事業において、IoT をテーマに各通信キャリアと代理店はそういう方向に向かっていくと感じている。

Q5: 来年以降も販売台数が減少する流れが続くのか、見通しを教えてください。

A5: 現時点における私見になるが、今の状態は、新規・MNP が減少する一方で、機種変更が増加し、光回線の販売に力を入れている状態だと理解している。来年度については現時点では想像が付きにくい。あえて言うなら、この傾向が続くのではないだろうか。また、販売代理店の淘汰、統廃合も進んでいくと思われる。